

令和 4 年度の事業報告書

令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

NPO 法人 介護予防支援リハフィットネス大分

1 事業の成果

今年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、外出自粛や人との接触回避などの対応が継続され、当法人の活動にも多大な影響があった。特に地域での啓発活動の減少、受益者数の減少が続く状況が余儀なくされた。

介護予防フィットネス事業では、坂ノ市、佐賀関地域の虚弱高齢者を対象とした介護予防教室「パワーアップ教室」の大分市委託事業を実施。外出自粛による高齢者の生活不活発が問題となっているため、今年度も地域包括支援センターや大分市長寿福祉課と連携し、パワーアップ教室の PR を積極的に行って、地域住民に参加を促した。コロナ第 7 波、8 波と感染者数が増大し、参加者の中にも罹患する者が出たり、その家族が罹患し濃厚接触者となるなどすることもあって、結果昨年度よりも参加者減少となった。教室では理学療法士・作業療法士の運動・動作指導に加えフレイルの理解や対策を伝え、取り組みの重要性を理解して頂いた。また、言語聴覚士による口腔ケア・嚥下指導の実施や栄養士による栄養指導も行い、生活機能の低下した虚弱高齢者に対して介護予防に取り組んだ。特にセルフケアの方法を指導することにより、教室終了後も身体機能低下に至らぬよう運動習慣をつけてもらい、生活不活発の予防支援を実施することができた。

身体機能の調整を目的としたコンディショニング事業では、集団での介護予防教室への参加が適さない方や、より個別に指導を行ってほしいというニーズに応じて、マンツーマンの介護予防指導「介護予防リハコンディショニング」を実施。法人施設「コンディショニングルーム」や利用者宅、介護施設にて運動指導・動作指導を行い、さらに住宅の環境や福祉用具の選定などもアドバイスすることで、その方の活動を維持するための支援も行った。昨年度に続き、接触回避のため事業を利用する方の減少がみられ、特に介護施設でのコロナクラスター発生のため、長期間入室制限の対応をとる施設も多く、昨年度以上に利用者の減少がみられた。施設へ立ち入りできなかった間、利用者には身体機能低下が見られる方が多かったため、この事業の必要性を改めて感じるとともに、感染が落ち着けば積極的に利用の PR をしていきたいと考えている。

介護予防や健康に関する指導・講演等の事業では、地域の老人会やサロン、地域包括支援センターや大分県社会福祉介護研修センターから講演依頼を頂き、運動方法の指導や生活習慣病予防等の講演を行い介護予防の啓発を行った。今年度も地域の多くのサロンや老人会は開催見合わせがあり、啓発活動の減少を余儀なくされた。また、講演が行えた会では、大分市が作成した「フレイル手帳」という啓発冊子を利用して、ステイホーム下での高齢者の生活不活発リスク軽減に努めた。

介護施設からの依頼で入所者に対する介護予防の為の運動方法指導や介助法の指導などを入居者、施設スタッフに実施。「リハコンサルティング」として、施設へ定期的な指導を行った。コロナ感染拡大のため、施設の入室制限等の対応がなされたため指導できない施設もあったが、当方としても感染対策に万全を図ることや、施設の示す基準に合わせることで事業実施を行った。

福祉用具や健康関連商品等のアドバイス・販売事業は、主に運動を指導する中で使用する balan

ディスクやストレッチポール等の運動器具を、自宅でも活用してもらうためにその使用方法指導や販売を実施した。販売目的ではないため、受益者数は少ないが介護予防教室や個別指導で行った事を自宅で自主的に行うことができ、体調管理、セルフケアの支援につながるため事業継続している。

今後も介護予防活動に取り組む法人としてのPRを地道に行い、ニーズの高い個別での介護予防指導や、講演活動や施設指導を通して受益者拡大を図って行きたいと考えている。来年度は新型コロナウイルス感染症もインフルエンザと同様の5類対応に移行するため、以前のような状況に戻ってくれることを期待しているが、現状行っていることを継続していくことが大切であると考えている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数
① 介護予防フィットネス事業	地域住民が要介護状態に至らぬよう、身体機能の維持・向上、健康の増進につながる介護予防教室事業（大分市委託）を行った。内容としては運動・栄養・口腔機能の知識、介護予防の方法を学び、各々が抱える生活課題改善のための指導を実施し、また参加者の自宅に月1回訪問指導を行って、個別性の高い指導を行った。	(A) ○パワーアップ教室 ：毎週木曜 9:30～11:30 (B) ○パワーアップ教室 ：佐賀関公民館 (C) ○パワーアップ教室 ：6人	(D) 坂ノ市、佐賀関 地域在住の高 齢者 (E) ○パワーアップ教室： 延べ 631 名/年
② 身体機能の調整を目的としたコンディショニング事業	地域住民が要介護状態に至らぬよう、身体機能の維持・向上、健康の増進につなげるために、身体機能の調整を目的としたリラクゼーションや整体・運動指導・動作指導等、個別の介護予防指導を実施。その方の抱える課題解決にむけたアドバイスや個別化したプログラムを実施した。	(A) 利用者の希望日時で随時実施。1回 40～60 分のマンツーマン指導。 (B) 法人施設、利用者宅（施設含む） (C) 2人	(D) 地域在住の高 齢者、中 高年 (E) 延べ 2034 名 /年
③ 介護予防や健康に関する指導・講演等の事業	地域のサロンや老人会、地域包括支援センターや大分県社会福祉介護研修センター等からの依頼で、介護予防に関する講演を実施。また、介護施設からの依頼で入所者に対する介護予防の為の運動方法指導や介助法の指導などを入居者、施設スタッフに実施した。	(A) ○講演：1回 1時間～2時間。 講演回数は全 13 回。 ○リハコンサルティング（施設指導）： 各施設毎月 1～4 回程度。 指導回数は 37 回。 (B) 公民館、老人憩いの家、研修施設、介護施設等。 (C) 1人	(D) 地域在住の高 齢者、中 高年、 施設スタッフ (E) 628 人/年

④ 福祉用具や健康関連商品等のアドバイス・販売事業	自宅での運動や活動を促すため、必要な方に対して、身体機能を手助けする福祉用具、健康増進に寄与する運動器具等を、その方にあった最適な物を提案、販売した。	(A) 随時 (B) 利用者宅、法人施設 (C) 1人	(D) 地域在住の中老年、高齢者、障害者 (E) 2人/年
⑤ 身体機能を補う住宅改修のアドバイス事業	*今年度実施せず	(A) (B) (C)	(D) (E)

活 動 計 算 書

介護予防支援リハフィットネス大分

[税込] (単位: 円)

自 令和4年 4月 1日 至 令和5年 3月31日

【経常収益】			
【事業収益】			
自主事業収益	9,946,586		
受託事業収益	3,112,735	13,059,321	
【その他収益】			
受取利息	58		
雑収益	5,425	5,483	
経常収益計			13,064,804
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
教育研修費(事業)	13,000		
給料手当(事業)	8,629,400		
法定福利費(事業)	1,190,851		
福利厚生費(事業)	49,945		
人件費計	9,883,196		
(その他経費)			
売上原価	22,798		
業務委託費	120,000		
諸謝金	110,000		
車両費(事業)	652,538		
通信運搬費(事業)	114,053		
消耗品費(事業)	246,663		
水道光熱費(事業)	26,725		
地代家賃(事業)	450,000		
賃借料(事業)	77,060		
保険料(事業)	70,672		
租税公課(事業)	483,300		
支払手数料(事業)	144,655		
その他経費計	2,518,464		
事業費計		12,401,660	
【管理費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
会議費	10,420		
通信運搬費	12,828		
消耗品費	72,816		
水道光熱費	7,548		
地代家賃	150,000		
接待交際費	2,084		
支払手数料	1,705		
支払利息	2,310		
その他経費計	259,711		
管理費計		259,711	
経常費用計			12,661,371
当期経常増減額			403,433
【経常外収益】			
経常外収益計			0
【経常外費用】			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			403,433
法人税、住民税及び事業税			71,000
当期正味財産増減額			332,433
前期繰越正味財産額			5,765,294
次期繰越正味財産額			6,097,727

貸借対照表

介護予防支援リハフィットネス大分
全事業所

【税込】(単位：円)
令和5年 3月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	80,436		
普通預金	4,754,075		
現金・預金計	4,834,511		
(売上債権)			
売掛金	2,045,000		
売上債権計	2,045,000		
流動資産合計		6,879,511	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器備品	1		
有形固定資産計	1		
(無形固定資産)			
ソフトウェア	1		
無形固定資産計	1		
(投資その他の資産)			
敷金	100,000		
投資その他の資産計	100,000		
固定資産合計		100,002	
資産合計			6,979,513
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	687,733		
預り金	76,053		
流動負債合計	763,786		
【固定負債】			
長期借入金	118,000		
固定負債合計	118,000		
負債合計		881,786	
《正味財産の部》			
前期繰越正味財産		5,765,294	
当期正味財産増減額		332,433	
正味財産合計		6,097,727	
負債及び正味財産合計			6,979,513

財 産 目 録

介護予防支援リハフィットネス大分
全事業所

【税込】(単位：円)
令和5年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
現 金	80,436		
普通預金	4,754,075		
大分銀行	(1,575,713)		
大分みらい信用金庫	(3,178,362)		
現金・預金計	4,834,511		
(売上債権)			
売掛金	2,045,000		
売上債権計	2,045,000		
流動資産合計		6,879,511	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器備品	1		
有形固定資産計	1		
(無形固定資産)			
ソフトウェア	1		
無形固定資産計	1		
(投資その他の資産)			
敷 金	100,000		
投資その他の資産計	100,000		
固定資産合計		100,002	
資産合計		6,979,513	
		《負債の部》	
【流動負債】			
未払金	687,733		
預り金	76,053		
所得税	(76,053)		
流動負債合計	763,786		
【固定負債】			
長期借入金	118,000		
日本政策金融公庫	(118,000)		
固定負債合計	118,000		
負債合計		881,786	
正味財産		6,097,727	